

天上の青

神山暁美

きりりとねじった蕾を
いつのまにかほどいて
青をひろげる朝顔
心のかたちした葉先が
おとこの眸にゆれる

「しずかな夏だ」
つぶやきながらおとこは
記憶の襞をたたむように
まぶたをとじた

空と海
わずかな色の差で
水平線をたしかめる
ただひとつの敵影も
見逃すわけにはいかない

双眼鏡を手に
おとこは艦橋に起^たっていた
視界を満たすのは
緊張の青 蒼^{あお} 藍^{あお}

明日はない
今だけを生きて
空に海に
散っていった者たち

ヘブリー・ブル

『天上の青』と和名をもつ花は

咲ききった昨日いちにちを

しっかりと握りしめたまま

今日の庭を紅に彩っている